



第3号

平成 28 年 3 月 31 日

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

秦野市桜町 2-1-3

TEL 0463-80-3001

会長あいさつ

神奈川県西部職業能力開発推進協議会会長 丹野 猛

会員の皆様には、日頃より神奈川県西部職業能力開発推進協議会の事業運営に際してご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで会員数も発足当時の150社から、平成28年3月末現在で270社を超えるまでに増加しました。県立西部総合職業技術校(かなテクカレッジ西部)と連携して、企業ニーズに対応した人材育成に寄与するという当協議会の使命を果たすため、運営も軌道に乗ってきたと思います。

近年、業界を問わずグローバル化や技術革新等の社会変化の中、「職」も応じて変化しており、年齢性別を問わず、「手に職を」と確実に実践できる「知識・技能」を求める考え方が増えていると実感いたします。神奈川県におきましては国家戦略の特区に指定され、特に戦略の重要な一角を担う「さがみロボット産業特区」が指定された事なども背景にあり、当協議会の役目はより重要なものとなると考えております。

さて、西部総合職業技術校が開校して3年が経過しました。今後ますます、企業に役に立つ人材を育成するとともに、技術校生も誇りを持ち、社会に注目されるような技術校になってほしいと思います。

そのため今年度は、理事会でも西部総合職業技術校の訓練内容について指導スタッフを交え意見交換をしたり、11月には校初めての試みとして訓練の様子を会員の皆様に見ただく「公開訓練」を実施し、多くの会員から意見を頂くことができました。今後も、会員の皆様のニーズを技術校の運営につなげられるような取組みをしてみたいと思います。

ところで、10月に第1回研修会として、富岡製糸場と高崎の職業能力開発施設を視察いたしました。日本最初の本格的な器械製糸の官営工場であった富岡製糸場は、日本の近代産業の基礎を築いたわけですが、模範工場として工女を始めとした多くの技術指導者を育成し、全国の製糸工場の発展を促したという点が特に印象に残りました。日本の産業の発展のために、技術者の育成が重要な役割を果たしたという日本近代化の歴史について、群馬の地で思いを馳せました。そしてその技術者育成の伝統が、同時に訪れた高崎産業技術専門学校やポリテクセンター群馬の熱心な技術指導に息づいていることを感じました。

その意味では、神奈川県こそが日本の工業を牽引してきた歴史を持っております。それを支える技術者育成の一翼を、西部総合職業技術校は担っています。神奈川県西部職業能力開発推進協議会として、産業先進県・神奈川の名に恥じない技術者育成に努力したいと思いを新たにしました。協議会ではその他、12月のかなテクカレッジ西部合同就職説明会や1月の第2回研修会「アンガーマネジメントを学ぶ」などを実施し、これまでにないほどの多くの会員企業の参加をいただきました。

今後、当協議会では、西部総合職業技術校と連携して、地域経済の発展を支える人材育成を目標にまいります。会員の皆様の引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、会員企業・団体の益々のご発展と皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、挨拶といたします。



参与あいさつ

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

参与 秦 昌樹

(神奈川県立西部総合職業技術校 校長)

神奈川県西部職業能力開発推進協議会の会員の皆様には、かなテクカレッジ西部で実施する職業訓練の充実に向け、ご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、日本人お二方のノーベル賞受賞、ラグビーW杯での日本チームの躍進等、明るい話題があった中、推進協議会も会員数が270を超え、当初の目標である300会員が目前となりました。

事業につきましても新たな取組みとして、9月には、第2回理事会において本校建築技術分野の訓練コースについての意見交換会、11月には、17会員、26名のご参画をいただき、公開訓練(14コース)を実施し、本校の訓練を充実させるための大変有意義なご意見をいただきました。また、10月の施設見学会におきましては、世界遺産の富岡製糸場を訪れ、日本の近代化の礎を実感することができました。

本校も開校から3年目を迎え、これまでに蒔いてきた種が芽を出し、順調に成長しています。特に高校連携事業につきましては、県立秦野総合高校との連携において、文科省の制度である「技能連携制度」を導入し、定時制の最終学年の生徒が高校在校のまま本校の機械(旧マシニング&CAD/CAM)コースに入校できる道筋を設けました。また、新たな連携先として、県立厚木清南高校と覚書を締結しました。さらに、長期的に募集が低迷していた機械コースでは、平成28年度4月生前期募集において、高校卒業見込者への推薦募集枠を設け、定員充足を果たしました。

現在、日本経済は、昨年のTPPの大筋合意により、将来的には経済活性化のプラス効果が期待される場所ですが、中国の経済不安、原油価格の下落等のリスクで、世界経済とともに成長ペースが鈍化し、先行き不透明感が漂っています。

このような状況で、企業における優秀な人材の育成は、ますます重要性を高めており、県におきましても、職業能力開発を総合的かつ計画的に推進するための5か年計画、第10次神奈川県職業能力開発計画の策定を進めているところです。

本校といたしましても、地域や企業に貢献できる人材育成に努めてまいり所存ですので、推進協議会の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

最後になりますが、推進協議会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、挨拶といたします。



事業報告

■第2回定期総会の報告



平成27年5月20日（水）16時から西部総合職業技術校にて、神奈川県産業労働局産業人材課長（代理）他3名の来賓をお迎えし、神奈川西部職業能力開発推進協議会第2回定期総会が開催されました。

定期総会当日は、米山会長（現・顧問）の挨拶の後、委任状を含め181会員の出席を得て、（第1号議案）「平成26年度事業報告」及び（第2号議案）「平成26年度収支決算」の説明、監査報告が承認されました。続いて、（第3号議案）「平成27年度事業計画（案）」、（第4

号議案）「平成27年度予算（案）」、（第5号議案）「役員改選」について議決され、最後に新会長の丹野会長より、ご挨拶がありました。定期総会終了後、懇談会を行い、なごやかに当推進協議会会員相互の親睦を深めました。

■優良従業員表彰式

平成26年度優良従業員表彰式が、平成27年5月20日（水）神奈川西部職業能力開発推進協議会第2回定期総会において行われ、理事会で決定した4名の会員事業所従業員の方が紹介され、米山前会長より表彰状と記念品が贈られました。

米山前会長は、会員事業所の社員として、職務に精励し技能技術の習得に努め、会社の発展に多大な貢献をしたことへの功績を称えるとともに、今後も他の社員の模範となり活躍されることを期待したいと激励されました。

表彰を受けられたのは、次の皆様です。おめでとうございます。

氏名	事業所名 (所在地:分野)
井上 智恵美 さん	社会福祉法人 神奈川社会福祉 事業団 湘南老人ホーム (秦野市:介護)
山本 眞弓 さん	社会福祉法人 祥風会 特別養護 老人ホーム 芳徳の郷 ほなみ (小田原市:介護)
内川 雅幸 さん	株式会社 ケイテック (鎌倉市:工業)
加治木 美紀 さん	株式会社 ワイテック (平塚市:工業)



(写真：前列左から、井上さん、山本さん、内川さん、加治木さん)

■西部総合職業技術校 公開訓練（授業）

平成27年11月24日（火）、西部総合職業技術校において、当推進協議会会員に対して、公開訓練（授業）を実施しました。参加人数は17会員26名でした。当日は、14時40分～15時50分の時間で訓練を公開し、設定した14の訓練コースを自由に見学されました。これまでの施設見学と異なり、当推進協議会の会員が関心のある訓練コースを集中して見学し、コース担当指導員と意見を交わすことでより深く訓練コースを理解していただきました。

この取組みは好評で、「自分だけでなく、社内の関係部門も一緒に来た方がよかった」、「技術校生と話せる機会を作ってほしい」などのご意見をいただきました。さらに「28年度も是非実施してほしい」との感想も多く寄せられましたので、次年度も実施していく予定です。



マシニングセンターの実習



電気工事の実習

■第1回研修会（世界遺産富岡製糸場と群馬県内職業能力開発施設の見学会）

平成27年10月28日（水）、第1回研修会（施設見学会）を実施しました。見学先は、世界遺産に登録された富岡製糸場と群馬県立高崎産業技術専門校、そして独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が設置する群馬職業能力開発促進センターで、参加人数は、31名でした。

先ず新たに延長開通した首都圏中央連絡自動車道を通り、知名度の高い湘南地域と世界遺産登録となった富岡製糸場を有する群馬県とのアクセスの飛躍的向上（秦野駅から現地までは2時間30分程）を体感しました。

富岡製糸場は日本の近代化と絹産業の技術革新・交流などに大きく貢献した日本初の本格的な器械製糸の工場で、明治5年の開業当時の繰糸所、繭倉庫などが現存していました。ボランティアのガイドによる説明により、日本最初の職業訓練を行ったことに驚きを感じるとともに、職業訓練の重要性を再認識しました。

午後は、新規に高等学校を卒業した者を主な対象としている定員160名の高崎産業技術専門校と、離転職者を主な対象としている定員576名の群馬職業能力開発促進センターを訪問しました。



■第2回研修会(講演会)

テーマ アンガーマネジメントを学ぶ

講師 浅井 環 氏 (一般社団法人日本アンガーマネジメント協会)

平成28年1月27日(水)15時30分から西部総合職業技術校多目的教室において、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会ファシリテーターである浅井環氏をお迎えし、研修テーマである「アンガーマネジメント」を会員企業の人材育成に役立てることを目的に、講演会を実施しました。出席者は60名でした。

出席者自らが参加するワークショップ方式で議論され「怒りや不安など、自分の感情をコントロールする」「効果的な怒りの伝え方とコミュニケーション」「組織にある感情的なわだかまりを解決する」などの気づきを得ることができました。

研修会終了後17時30分から場所を変えて懇親会を行い、浅井講師を囲んでの和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、組織間での連携を図るきっかけにもなり、大いに親睦を深めることができました。



■合同就職説明会の開催

平成27年7月28日・29日(9月修了生対象)と12月9日・10日(平成28年3月修了生対象)に、合同就職説明を西部総合職業技術校で実施しました。昨年度に引き続いての実施となりましたが、参加企業も増えたことで、7月、12月とも2日間(工業および建設技術分野・介護福祉分野)の実施となりました。12月は秦野商工会議所との共催で参加求職者は西部総合職業技術校の修了予定者の他にも一般求職者、大学生、高校生も参加し、参加企業の方々の丁寧な説明に熱心に耳を傾け、積極的に質問を行っていました。

採用担当者からは、「就職に対して意識の高い方が多く、就職活動に対する意欲の高さと熱意が伝わってきた」「企業と求職者の間に生じているギャップが分かりお互いを知るための良い機会となった」

「いろいろな経験をもった方と出会うことができ当社の目的とする人材発掘につながるよい機会となった」などの感想をいただきました。また、参加求職者からも「実際に人事の方や技術者の方とお話して就職で何が重要なかわかった」「今まで知らなかった業種にも興味を持つことができた」「広い視野で企業研究をするきっかけになった」などの声が聞かれ、大変有意義な説明会になりました。

今後もこうした就職支援を積極的に展開して、推進協議会会員企業における有望な人材確保と、西部総合職業技術校における就職状況の向上、地域雇用の活性化を図っていきたいと思います。



■役員紹介

神奈川県西部職業能力開発推進協議会 役員・理事一覧

役職名	氏名	会社・役職名
会長	丹野 猛	株式会社丹野設備工業所 代表取締役
副会長	諸星 道男	株式会社アカギ 取締役
副会長	石川 道隆	株式会社石川工業 代表取締役
副会長	小山 俊一	株式会社やまなか園建設 代表取締役会長
会計監査	田城 裕司	株式会社タシロ 代表取締役社長
会計監査	栗原 政男	秦野商工会議所 専務理事
理事	石原 健次	株式会社湘南アルテック 代表取締役社長
理事	浦野 正男	社会福祉法人中心会 理事長
理事	大曾根 俊久	平塚商工会議所 専務理事
理事	橘川 一比鼓	株式会社ケイテック 代表取締役会長
理事	近藤 剛	協栄ダイカスト株式会社 代表取締役
理事	榊原 充	株式会社メックスサポート 第一事業部長
理事	鈴木 洋子	社会福祉法人西湘福祉会 理事長
理事	林 隆英	東名自動車工業株式会社 代表取締役

(役員期間 平成27年5月20日～平成29年の総会日まで)

顧問	米山 君夫	株式会社米山電子工業 代表取締役会長
----	-------	--------------------

西部総合職業技術校の紹介

■コース紹介

工業技術分野8コース、建築技術分野5コース、社会サービス分野2コースの計15コースの職業訓練を行っている“かなテクカレッジ西部”のコース紹介を行います。

今回は、訓練期間1年の建築技術分野2コースを紹介します。

室内設計施工コース

訓練期間 1年
定員20名 (4月入校)

新築や改装の場面では、提案、計画、設計施工管理までカバーする営業管理と、壁紙や床などを張り替える内装工事や給排水設備工事、屋内配線の技術が求められます。このコースでは、様々な仕上げ工事に対応できる知識と技術を学びます。

木材加工コース

訓練期間 1年
定員20名 (4月入校)

家具を製作するためには、木工用機械加工、手加工、塗装の技術を必要とします。このコースでは、木製家具の課題製作を通して、基礎知識から手工具や木工機械の取扱い、塗装などの幅広い知識や技術を学び、現代の家具職人になることを目標にします。

■修了生の近況



平成27年3月修了
 印南 諒人さん(電気コース)
 新晃空調工業株式会社 神奈川工場

電気の知識を得たいと思い技術校に通うことを決めました。初めはわからない事ばかりでしたが、技術校での勉強を経て第一種、第二種電気工事士の資格も取得できて、とても充実した時間を過ごす事が出来ました。

現在は、空調機の製造の仕事をしています。入社当初は、空調機の制御盤の配線結線作業が主でしたが、半年ほどで空調機内の配線作業も任せて頂けるようになりました。

今は、配線作業以外の仕事も教わっていて、日々学びながら頑張っています。



平成26年3月修了
 田代 翔太さん(自動車整備コース)
 横浜トヨペット株式会社 開成店

子供の頃から車が好きで、車に関わる仕事がしたいと思い技術校に入りました。技術校では先生方が分かり易く教えてくださったので、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

現在は、自動車整備士として車検や法令点検を中心に作業をしています。車は日々、進化していくのでまだまだ覚える事が沢山あり大変ですが、その分やりがいも感じています。早く一人前の整備士になれるよう日々、勉強し成長していきたいです。



平成27年6月修了
 塚原 寿彦さん(庭園エクステリア施工コース)
 株式会社 やまなか園建設

樹木に関する仕事で人の役に立ちたいという思いで造園という職業を選びました。技術校では講師の方々から貴重な経験を聞くことができ仲間にも恵まれ、あっという間の6か月でしたが、学んだ知識や技術は、現場でもすぐに実践できることばかりだと実感しています。

現在は、就職先で剪定作業や垣根工事など様々な作業をさせていただいております。今後は、造園技能士や造園施工管理技士などの資格を取得し、職人としてお客様のご期待に沿えるよう技術を磨いていきたいと思っております。



平成27年9月修了
 田中 美津枝さん(介護調理コース)
 社会福祉法人 西湘福祉会 西湘老人ホーム

漠然と調理に関する仕事に興味を持ち、前職とは全く違う業種でしたが、職業安定所で勧められた技術校に入校しました。半年間の訓練を修了し、実習でお世話になった西湘老人ホームに就職することができました。

現在は、入居者の方々の食事を用意しています。毎日いろいろな献立で覚える事がたくさんあり、調理員の方々にはご面倒をおかけしていますが、親切にご指導いただき、早く一人前になれるように頑張っています。

■平成28年度新規スキルアップセミナーのご案内

西部総合職業技術校では、様々な分野のセミナーを多数開催しております。

平成28年度のメニュー型新規スキルアップセミナーのご紹介をいたしますのでご活用ください。

また、ご要望に応じた講座内容や日程を設定するオーダーメイド型のセミナーもお受けしておりますので、是非ご相談ください。（電話：0463-80-3004）

セミナー名	実施日
ホームページ作成入門	7/28,29
建築CAD入門（上級）	7/24,31【日曜開催】
インテリア3Dパースの作り方	6/15,22、3/1,8（2回開催）
板組の基礎	6/29,30
新任職員のための介護の基本	7/1,7
基礎から学ぶ調理技術と介護食	7/20,28

これ以外にも多数のセミナーがありますので送付させていただきました「スキルアップセミナーガイド2016」をご覧ください。

推進協議会加入のお願い

当推進協議会では、この会報で紹介しております研修会や就職説明会、公開訓練などの事業を実施していますが、さらに会員が増えることにより、会員企業相互の情報交換・交流も充実させることができます。

現在の会員数は、平成28年3月末現在で272社となっています。入会いただける企業・事業所がおられましたら、是非、ご紹介くださるようよろしくお願いいたします。

〔入会の問い合わせ先〕 推進協議会事務局 電話 0463-80-3002

編集後記

会員の皆様には、それぞれ日ごろの業務にお忙しいことと存じます。

西部校も開校して3年が経ちました。会員の皆様並びに関係各位のご協力により、この会報の第3号を無事発行することとなりました。今回は、初めての試みで公開訓練（授業）を実施しました。紙面をお借りして感謝申し上げます。今後とも、ご協力の程、よろしくお願いいたします。